

## 時代・社会の変化に即応した取り組み

### 1 学士力向上を目指した教育課程の展開

#### 共通教養科目の充実に向けて

「ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）」で示した「共通到達目標（全学的学修成果）」に対応し、教養教育の充実を図るため、令和元年度から共通教養科目として新たに自然科学分野及び社会科学分野の2科目を追加し、計14科目を設置しました。また、初年次教育の一環として開設した「スタートアップゼミナール」において、各学科・コースがそれぞれ教育内容を工夫するとともに、共通教養科目検討委員会等において、不断の見直し・検討を行いました。また、コロナ禍において実施が困難となった海外英語研修についても検討を行っています。

#### 学則の変更（新教育課程の実施・作成）

子ども学科について、令和元年度入学生から、文部科学省教育職員免許法等の改正及び厚生労働省保育士養成課程の見直し等を踏まえて作成した新教育課程を実施しています。

キャリア育成学科介護福祉コースについては、令和3年度入学生から、「厚生労働省介護福祉士養成課程における教育内容の見直し」に対応した新教育課程を実施しています。

キャリア育成学科オフィスワークコースについて、令和5年度を目途に新教育課程を検討しています。

#### 新型コロナウイルス感染症への対応

令和2年度当初より本格的な感染拡大となっている新型コロナウイルス感染症への対策及び実習期間の延長に伴う授業期間の確保対策として、一部授業を遠隔授業として配信、対面授業時間割を柔軟に変更し、感染症への対策とともに学生本位となる授業の効果的な実施による学修機会の確保・両立に努めました。また、LMSを用いた遠隔授業のクオリティ向上のために教員向け研修を行うなど不断の努力を継続しています。

### 2 自己点検・自己評価の取組

#### 認証評価

本年度、（一財）大学・短期大学基準協会による第3クール目となる認証評価を受けました。

認証評価は、高等教育機関である短期大学の水準について、設定された短期大学評価基準を満たしているか否かで評価するもので、7年に1度義務づけられています。

評価の在り方は、同協会の会員短期大学に培われた専門的見地に基づくピア・レビューを主体とします。同協会が行う認証評価において適格の判定を受けた短期大学は、高等教育機関としての質が保証されていることを示されているものです。

昨年度より自己点検・評価委員会において、山口A L Oを中心に「自己点検・評価報告書」作成の準備を進め、6月に大学・短期大学基準協会および評価員4名に報告書及び資料を提出しました。

そして、9月20日（月・祝）、21日（火）の2日間に亘り、コロナ禍のため訪問調査に代わりZOOMによるオンライン会議形式による面接調査を受けました。

1日目（9月20日）は、基準Ⅰ（「建学の精神と教育の効果」）、基準Ⅱ（「教育課程と学生支援」）、基準Ⅲ（「教育資源と財的資源」）についての評価を受けました。

2日目（9月21日）は基準Ⅳ（「リーダーシップとガバナンス」）についての評価及び学生インタビュー、その他1日目の追加質問等が行われました。

評価員は4名で、本学からは、理事長、監事のほか、自己点検・評価委員である学長、AL O、両学科長・コース長および各委員長・センター長、事務局長、教学部長、総務課長が各セッションに応じて出席しました。

令和3年度（一財）大学・短期大学基準協会による認証評価の結果、令和4年3月11日付けで、「適格」と認定されました。

特に優れた試みと評価できる事項として、「建学の精神」「内部質保証」「教育課程」「学生支援」「人的資源」「物的資源」「学長のリーダーシップ」の7領域8件の事項が取り上げられました。



### 3 主体性・協調性を育む短大生活支援

#### （1）新入生研修

日 時 4月22日（木）

会 場 （子ども学科） 本学

（キャリア育成学科） COCOPA RESORT CLUB

白山ヴィレッジゴルフコース（津市白山町川口6262）

研修内容 新入生研修をとおして、短大生としての自覚・自立心および協調性を養うとともに、学生・教職員相互の理解と親睦を深めることにより、今後の短大生活をより有意義に送れるようにすることを目的としています。今年度は新型コロナウイルス感染防止のため宿泊は行わず、会場も密を避けるため学科ごとに別会場での実施となりました。



## (2) 学生自治会主催イベント

本学伝統の自治会活動では、2年生の執行部役員に加え、1年生から学生自治会サポートメンバーを募り、各学生が自らの役割を考えて行動し、課題を解決していく「異学年共同コミュニティ」の形成を目指しています。自治会活動を教職員が支え、年間を通して種々の行事を企画していますが、今年度は昨年度に引き続きコロナ禍により中止や縮小となる行事もありました。

### ① TJC祭（スポーツ大会）

日 時 5月15日（土）

場 所 本学体育館

内 容 令和3年度は中止

### ② 学生自治会主催 抽選会

日 時 （第1回）7月12日（月）・13日（火）

（第2回）11月22日（月）・23日（火・祝）・24日（水）

場 所 2号館1階学生ロビー

内 容 学内コンビニと連携し、学内コンビニで買い物をした学生を対象に学生自治会が抽選会を行いました。



### ③第55回高短祭

日 時 10月24日（日）

内 容 令和3年度は中止

### ④自治会主催行事（新年会）

日 時 令和4年1月22日（土）

内 容 令和3年度は中止

## (3) 学長と学生自治会執行役員との懇談会

日 時 7月5日（月）14：40～

場 所 第4会議室

出席者 梅林学長、執行委員13名、教職員9名

内 容 学生との意見交換や、学生からの要望等の聴き取りを行い、改善策について検討しました。

1) 高短祭について

2) 学業及び学生生活全般に関する意見交換

※1月に予定していた次年度役員を含めた懇談会は中止



## 4 キャリア教育・キャリア支援の充実

### キャリア教育の推進

各学科・コースの特色に応じて、教養科目・専門科目の各授業と就職ガイダンス、プレ就職講座、就職講座を関連づけ、キャリア教育を推進しています。

|                    |            |                  |                                 |           |
|--------------------|------------|------------------|---------------------------------|-----------|
| 2021年度<br>入学生（1年生） | 子ども学科      | 就職ガイダンス          | 3回実施                            |           |
|                    |            | キャリアスタディ         | 8回実施                            |           |
|                    | キャリア育成学科   |                  |                                 |           |
|                    | オフィスワークコース | プレ就職講座           | 2回実施、                           | 就職講座 6回実施 |
| 2020年度<br>入学生（2年生） | 介護福祉コース    | プレ就職講座           | 1回実施、                           | 就職講座 2回実施 |
|                    | 子ども学科      | 就職講座             | 4回実施                            |           |
|                    |            | 公務員二次・三次対策講座（複数） |                                 |           |
|                    | キャリア育成学科   |                  |                                 |           |
|                    | オフィスワークコース | 就職講座             | 4回実施（コースフォローアップ講座、<br>就職前講座を含む） |           |
|                    | 介護福祉コース    | 就職講座             | 3回実施                            |           |

### 公務員試験対策

#### （1）教養試験対策講座（受講者数）

|     | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 |
|-----|-------|-------|------|------|------|
| 1年生 | 90人   | 83人   | 80人  | 130人 | 145人 |
| 2年生 | 50人   | 46人   | 53人  | 32人  | 52人  |

2021年度入学生（1年生）は、令和3年9月 8日（水）から

令和4年3月11日（金）まで21回実施

2020年度入学生（2年生）は、令和3年3月25日（木）から

令和3年7月27日（火）まで13回実施

（2）保育専門対策講座 2年生 令和3年3月22日（月）～令和3年3月26日（金）：計7回実施

1年生 令和4年1月11日（火）～令和4年1月25日（火）：計3回実施

（3）数学対策講座〔非常勤講師：2年生（4月～計10回実施）、1年生（10月～計20回実施）〕

### 学生への就職支援

キャリア支援センターには、キャリアカウンセラー1名、キャリアサポーター5名が配置され、センター長と庶務担当を合わせて総勢8名の職員が、学生の進路相談や就職活動などについてきめ細やかな支援を行っています。



### 卒業生への支援と早期離職の防止対策

生涯キャリア支援を旗印に、離職したり、仕事上の悩みなどで相談に来たりする卒業生に対して、卒業後も継続して支援を行っています。早期離職防止対策については、2月18日（金）、各学科コース別に指導しました。

## 「キャリアカルテ」の活用等による協働型キャリア支援の推進

毎月1回（年13回）、キャリア支援委員会を開催して、各学科コースとキャリア支援センターの教職員が、一人ひとりの学生に対するキャリア支援のあり方について協議しています。また、日常的には就職支援システム「キャリアカルテ」を核とした「高短キャンパスネット」(Web)を活用して、教職員間の情報共有と意思疎通を図っています。



## 5 学生募集と高大交流事業

### (1) 高大教育交流事業

今年度の交流事業の実施回数は下記のとおりです。

- ① 出張ガイダンス（協定校へ出向いて学校ガイダンスを行う） 49回（17校）
- ② 出前（模擬）授業（協定校へ出向いて出前授業を行なう） 14回（5校・14講座）
- ③ 特別授業・授業見学・施設見学など（本学の授業に出席、本学の施設・設備見学）  
3回（2校・7講座）



### (2) 高大教育交流連絡協議会

令和4年2月24日（木）に、令和3年度高大教育交流連絡協議会をオンラインにて開催しました。三重県内の「高大教育交流協定校」等18校及び三重県教育委員会事務局高校教育課キャリア教育班、本学教職員が参加しました。本学から入試結果や就職状況などの報告を行い、その後に寶來准教授による講演を行いました。

### (3) 授業見学会「先取りCampus Day」

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

### (4) オープンキャンパス実施結果

#### ① 日時

- 第1回 6月12日（土）13:00～16:00
- 第2回 7月11日（日）13:00～16:00
- 第3回 8月 8日（日）13:00～15:00（総合型選抜対策セミナー）
- 第4回 8月21日（土）13:00～15:00
- 第5回 10月30日（土）14:00～15:00（キャリア育成学科のみ）
- 第6回 12月19日（日）13:00～15:00
- 第7回 令和4年 3月13日（日）13:00～15:30

留学生オープンキャンパス

8月 4日（水）10:00～12:00

## ② 参加者数

|                        | 6/12<br>(土) | 7/11<br>(日) | 8/4<br>(水) | 8/8<br>(日) | 8/21<br>(土) | 10/30<br>(土) | 12/19<br>(日) | 3/13<br>(日) | 合計  |
|------------------------|-------------|-------------|------------|------------|-------------|--------------|--------------|-------------|-----|
| 子ども学科                  | 88          | 123         | －          | 85         | 61          | －            | 65           | 55          | 477 |
| キャリア育成学科<br>オフィスワークコース | 24          | 33          | －          | 20         | 26          | 6            | 11           | 12          | 132 |
| キャリア育成学科<br>介護福祉コース    | 4           | 15          | 14         | 6          | 6           | 2            | 10           | 7           | 64  |
| 合計                     | 116         | 171         | 14         | 111        | 93          | 8            | 86           | 74          | 673 |

## ③ 実施スケジュール

13:00～13:30 全体説明会

13:30～終了まで 学科・コース説明会、体験授業、各種相談



## 6 外国人留学生支援について

都度、留学生支援室会議を行い、留学生のビザ更新に関する情報、奨学金など金銭面支援の状況、納税及び社会保険料などの支払いに関する情報、日本語能力検定試験など学習状況について、情報の共有化を図っています。

### (1) 外国人留学生支援室による在留期間更新の取次申請手続き

今年度は入管から介護福祉施設の奨学金契約について厳しく制限されました。留学生と個別面談を幾度も重ねて聞き取りした追加資料の提出のみならず、介護福祉施設の規程の一部改善などの調整・依頼を実施しました。

結果、9月末までに34人、11施設の対応を行い、在留資格更新不許可者を出さずに無事に手続きが行えました。

### (2) 留学生ミーティングの実施

留学生と留学生支援室とのミーティング、ガイダンスを次の日程で実施しました。

4月21日(水)、4月27日(火)、4月28日(水) 7月26日(月)、8月3日(火)

### (3) 留学生バスツアー

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。次年度に向けて新入生のコミュニケーションのための留学生バスツアーを改め、施設奨学金選びの一助となるよう実施時期を4月に繰り上げての各施設周辺の地域見学会を計画しました。

#### (4) 授業内での日本語支援

介護福祉コースの授業に2人の日本語補助員を配置し、介護や医療の専門用語等の説明が留学生に非常に好評です。

(対象授業科目)

「人生と仏教Ⅰ・Ⅱ」「心と身体Ⅰ・Ⅱ」「人間発達の理解Ⅰ・Ⅱ」

「社会保障」「地域福祉」「介護実習総合演習Ⅱ」「医療的ケアⅠ」

(日本語補助員)・・・伊藤由香、前田恵里



#### (5) 日本語教育科目のクラス分け制度の実施

より効果的な日本語学修効果を図ることを目的として、日本語教育科目のクラス分けを実施しました。日本語会話Ⅰ・Ⅱ 日本語表現・日本語作文Ⅰの授業を日本語能力により、Aクラス、Bクラスに分けています。

#### (6) 特別講座の開講

日本語能力試験(JLPT)の対策に特別授業を2講座(30回)開講しました。

介護福祉士国家試験の対策に特別授業を4講座(60回)開講しました。

#### (7) 留学生のための自転車安全講習会の実施

日本の交通ルールを再確認することで自転車による交通事故を未然に防ぐことを目的として、新たに自転車安全講習会を開催しました。

日時…4月23日(金)80分 参加者…23人

#### (8) 食料品の無料配布

新型コロナウイルスの感染拡大でアルバイトが減っている留学生に対して、青果市場で少し古くなったものや教職員の家庭内菜園による米や野菜の無料配布を行った他、新型コロナウイルス陽性者には数日分の食料を届けました。

#### (9) 施設奨学金の募集要項の改定

施設による奨学金の募集要項を改定しました。これにより施設の条件が詳細に分かるようになり、留学生の施設選びが更に明確にできるようになりました。



### 地域連携施設

#### 高田短期大学公開講座

「日本語とはどのような言葉か？」

開催日 7月31日（土）

場 所 講堂

参加者 31名

受講料 無料

講師 キャリア育成学科 教授 野呂 健一

内 容 日本人なら誰でも当たり前のように使っている日本語について3つの観点から豊富な実例を挙げて解説しました。皆様には日本語の不思議さや面白さを味わっていただきました。



#### みえアカデミックセミナー2021

三重県内にある全ての大学・短期大学・高等専門学校が有する学びと県民をつなぐ三重県の高  
等教育機関の連携事業で、各校の特色を活かしたバラエティ豊かな公開セミナーが毎年開催され  
ております。

本学は次の講座を開講し、57名の受講がありました。

日 時 8月22日（日）13:30～15:00

会 場 三重県総合文化会館1F レセプションルーム

テ ー マ 「災害は忘れたころにやってくる どうする、その時」

講 師 キャリア育成学科 特任准教授 福田 洋子



#### 教員免許状更新講習

昨年度に続き文部科学省の認可を受け、主に幼稚園教諭のための免許状更新講習5講座（計30時間）のうち必修領域2講座を8月に実施しました。受講人数については新型コロナウイルスの影響もあり、定員80名のところ57名にとどまりました。

## 仏教教育研究センター

#### 研究会の開催

研究テーマ：「真慧上人著『顕正流義鈔』の研究」

高田派中興の祖である真慧上人のご遠忌を記念して、上人が著された『顕正流義鈔』の研究書を  
発刊することを目的に毎月1回研究会を開催しています。これまでに原文と現代語訳との対照を行  
い、語句説明を頭註、補註形態で行ってきました。そして昨年度に引き続き、令和3年度も補註と  
解題の完成に向けて作業を進めました。

#### 仏教教育研究センター公開講座（高田本山教学部 共催）

地域の方々に仏教に触れる機会の提供を目的に、高田本山教学部との共催にて、真宗高田派本山  
の高田会館ホールにて開講しました。なお、いずれも受講料は無料です。



|     |     |                                       |     |     |
|-----|-----|---------------------------------------|-----|-----|
| 第1回 | 日 時 | 6月15日(火) 13:30～15:30                  | 受講者 | 27名 |
|     | 題 目 | ストレスと仏教                               |     |     |
|     | 講 師 | 清水谷 正尊 研究員<br>(仏教教育研究センター研究員、本学非常勤講師) |     |     |
| 第2回 | 日 時 | 10月14日(木) 13:30～15:30                 | 受講者 | 28名 |
|     | 題 目 | 三願転入の味わい                              |     |     |
|     | 講 師 | 松山 智道 研究員<br>(仏教教育研究センター研究員、本学特任講師)   |     |     |

### 仏教基礎講座（高田本山寄附講座）

高田本山からの寄附を基に実施する講座で、仏教や真宗に関する基礎的な内容に加え、真宗高田派の歴史や法宝物に関する知識を学んでいただく予定でしたが、令和3年度はコロナ感染拡大防止のため中止になりました。

### 仏教専門講座（高田本山寄附講座）

仏教基礎講座と同じく高田本山からの寄附を基に実施するもので、仏教や真宗に関するより専門的な知識を学んでいただくために、以下の日程で年間10回の講座（試験日として11回目あり）を予定していましたが、令和3年度はコロナ感染拡大防止のため、試験日を含めて5回中止になりました。

なお、この専門講座における講座科目は隔年で内容が変わり、全10科目（隔年で5科目）を開講します。この講座は、文部科学省の履修証明制度に則った「履修証明プログラム」として開講し、全10科目の講座を修了された方には学校教育法第105条に基づいた履修証明書を交付します。

|            |                              |           |          |           |
|------------|------------------------------|-----------|----------|-----------|
| 日 程        | 5月28日(金)                     | 6月25日(金)  | 7月30日(金) | 10月29日(金) |
|            | 11月26日(金)                    | 12月17日(金) |          |           |
|            | 【 以下中止 】                     |           |          |           |
|            | 4月23日(金)                     | 9月24日(金)  | 1月28日(金) | 2月25日(金)  |
|            | 3月 4日(金)                     |           |          |           |
| 対 象        | 寺族および一般（真宗高田派の教学を学びたい方）      |           |          |           |
| 受講料        | 無料（但し、テキスト代は実費負担）            |           |          |           |
| 教 科<br>講 師 | 「仏教学講読Ⅱ」 清水谷 正尊 研究員（本学非常勤講師） |           |          |           |
|            | 「真宗学概説」 栗原 廣海 研究員（本学前学長）     |           |          |           |
|            | 「真宗学講読Ⅱ」 金信 昌樹 研究員（善昌寺住職）    |           |          |           |
|            | 「真宗学講読Ⅳ」 北島 恒陽 研究員（正泉寺住職）    |           |          |           |
|            | 「真宗史購読」 栗原 直子 研究員（誓元寺衆徒）     |           |          |           |

### 運営委員会開催の状況

第1回 4月 6日(火)、第2回 4月13日(火)、第3回 5月 6日(木)  
 第4回 6月 8日(火)、第5回 8月 6日(金)、第6回 9月13日(月)  
 第7回11月22日(月)、第8回 1月18日(火)、第9回 2月10日(木)

【内 容】専門講座について、基礎講座について、令和4年度センター年間行事予定について、  
 令和4年度公開講座講師について、センター研究会「研究書」の発行について、  
 令和4年度の講座について

## 仏教行事委員会

### 学内仏教行事の実施（宗祖降誕会・灌仏会・報恩講が地域公開行事）

|     | 新入生本山参詣         | 宗祖降誕会                 | 灌仏会                                 |
|-----|-----------------|-----------------------|-------------------------------------|
| 開催日 | 4月2日（金）         | 5月24日（月）              | 6月21日（月）                            |
| 講師  | 梅林 久高<br>（本学学長） | 清水谷 正尊<br>（本学非常勤講師）   | 松山 智道<br>（本学仏教教育研究センター長・<br>本学特任講師） |
| 参加者 | 283名            | 1・2年ともに遠隔放送<br>390名視聴 | 2年生が遠隔放送<br>337名（2年の視聴も含む）          |

|     | 追弔会                       | 報恩講                       |
|-----|---------------------------|---------------------------|
| 開催日 | 10月18日（月）                 | 12月20日（月）                 |
| 講師  | 藤山 真宣（本学職員）               | 梅林 久高（学長）                 |
| 参加者 | 2年生が遠隔放送<br>285名（2年の視聴含む） | 2年生が遠隔放送<br>199名（2年の視聴含む） |

## 育児文化研究センター

### 1. 地域子育て支援事業

#### 1. 地域開放事業「おやこひろば たかたん」

子育て家庭の支援と子育て支援に関する研究フィールドの「おやこひろば たかたん」は、津市を中心に子育て親子の皆さんにご利用いただいています。スタッフの見守りの中、親子が、子ども同士が、親同士がゆったりとした雰囲気遊び、ふれあい、交流を深める場として開催しています。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止という点から1月・2月を閉鎖しました。また新たな試みとし、戸外での「森のひろば」や学外での「出張ひろば」を開催しました。「森のひろば」では自然の風や音、日々の変化など五感で感じながらゆったりと楽しむ姿があります。「出張ひろば」では本学には距離的に通にくい地域から来てもらっています。

#### （1）「おやこひろば たかたん」活動状況と利用者数

開催日時 基本として月曜日 10:00～12:00

場 所 育児文化室「たかたんフォレスト」・新町会館

参加対象 未就園児とその保護者

令和3年度は、42回ひろばを開設し、子どもと保護者を合わせて延べ577名の利用。

#### （2）子育て講座 ひろば開催日（月1回）にセンター研究員を講師に子育て講座を開催しました。

| 講座日          | テーマ                      | 講師     | 参加者数 |
|--------------|--------------------------|--------|------|
| 6月14日（月）     | 親子で新聞ビリビリ楽しいな            | 古川 久美子 | 9組   |
| 7月12日（月）     | リズムに合わせて♪親子でわくわく！        | 堀内 由香里 | 10組  |
| 8月19日（木）     | 仏教童話を味わう                 | 松山 智道  | 2組   |
| 9月16日（木）     | 知って安心！「つまるとあぶないたべもののはなし」 | 長倉 里加  | 中止   |
| 10月11日（月）    | 親子で楽しもう！ふれあい遊び           | 小菅 千恵子 | 7組   |
| 11月15日（月）    | 子どもとたのしむ                 | 河内 純子  | 9組   |
| 12月13日（月）    | みんなで遊ぼう                  | 金森 まさ子 | 9組   |
| 令和4年1月17日（月） | 親子で楽しむリズム遊びと手品           | 稲田 直子  | 中止   |
| 令和4年2月17日（木） | 子育てが楽しくなる絵本の力            | 岩附 啓子  | 中止   |

### (3) ひろば関係研修会

○第1回ひろば関係者研修会 「乳幼児の救急蘇生について」

日 時 8月20日(金) 13:00～ 中止

○第2回ひろば関係者研修会 「おやこひろば たかたんの取り組みについて」

日 時 令和4年1月20日(木) 13:00～

場 所 1号館第4会議室

参 加 者 本学教職員・ひろばスタッフ 計8名

### (4) 「おやこひろば たかたん」HP

「ひろば開催日」「活動案内」「活動紹介」等、現在の活動や今後のご案内をしています。

「活動紹介」はブログ形式で写真とともに、ひろば開催日毎にアップをしています。また、プリントアウトして育児文化室前にも掲示しています。

## 2. 子育て相談

地域への子育て支援の事業として、育児に関する心配や不安を相談できる個別対応の子育て相談を予約制で行っています。6月～3月までに1件の相談利用がありました。

## II. 研究会

センター研究員の活動の場として定例研究会とグループ研究会を開催しています。

### 1. 定例研究会(年3回)

第1回 第59回定例研究会 7月 6日(火) 16:30～(第4会議室) 参加者17名

研究報告 松山 智道 研究員 「仏教保育の授業を担当して」

第2回 第60回定例研究会 10月28日(木) 16:30～(図書館) 参加者19名

研究報告 武藤 敦士 研究員 「自然体験保育とビオトープ」

第3回 第61回定例研究会 令和4年2月7日(月) 16:30～ 中止

研究報告 大西 真純 研究員 「スリランカ保育について」

### 2. グループ研究会

グループ研究①「子育て支援のひろばについて」(4名) 開催回数: 8回

グループ研究②「おやこひろばたかたんにおける学生の学びについて」(3名) 開催回数: 5回

グループ研究③「野外体験保育とこれからの保育者養成」(7名) 開催回数: 4回

グループ研究④「子どもの基本的生活習慣と育児」(6名) 開催回数: 6回

グループ研究⑤「子どもと絵本」(3名) 開催回数: 5回

## III. 学生支援事業

### 1. 地域保育関連の学生ボランティア活動支援「子育て応援隊活動」

外部から学生へボランティア募集があれば、学内コロナウイルス対策委員会に対して「行事实施計画書(感染症対策関連)」を提出し、許可が出たものについて、学生に募集を行いました。

### 2. おやこひろば応援サークル「たんたんクラブ」

保育や子育て支援を学ぶ目的のサークル「たんたんクラブ」は発足4年目となりました。新型コロナウイルス感染症の影響で、学生がひろばへ参加できない中、10月にはひろば用の出席シール帳原稿作りに携わりました。また、3月には2年生が「手作りおもちゃ」「ゲームコーナー」「手作りプレゼント」の活動を行いました。

#### IV. 広報物及び研究成果の発行

##### 1. センターたより「いくぶん」第26号

8月末に発行しました。



##### 2. 育児文化研究センター紀要「高田短期大学育児文化研究」第17号（令和4年3月発行）

執筆希望書を編集委員会で協議し執筆者を決定しました。研究論文5編、調査報告2編、実践報告3編、文献紹介2編と定例研究会での研究報告要旨、5つのグループ研究会の活動報告等を掲載し令和4年3月15日（火）に発行しました。

##### 高田短期大学 育児文化研究第17号（令和4年3月発行）

| 種別   | テ ー マ                                                                                 | 執筆者                      |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|
| 研究論文 | SDGsに焦点を当てた木育の取り組みー「子どもの椅子づくり」ワークショップの実践ー                                             | 林韓燮                      |
| 研究論文 | 保育者養成課程における自然体験実習の意味について（1）<br>—— 子どもの遊びと自然環境の変動からみた保育の課題・覚書き ——                      | 河崎道夫                     |
| 研究論文 | 乳幼児の基本的な生活習慣の歴史からみる獲得                                                                 | 鷺見裕子、宮崎つた子、<br>川瀬浩子      |
| 研究論文 | 妊婦を対象とした子育て支援の現状を探る                                                                   | 長倉里加、青木信子、<br>井澤淑子、小管千恵子 |
| 研究論文 | コロナ禍における子育て支援に関する研究                                                                   | 藤重育子 鷺見裕子                |
| 調査報告 | 地域における子育ての取り組みー地域子育て支援拠点の構築に向けてー                                                      | 榎原尉津子、杉山佳菜子、<br>小川真由子    |
| 調査報告 | 保育者におけるデジタル絵本の認識に関する調査研究                                                              | 藤重育子                     |
| 実践報告 | 自然体験保育を指向したゼミナール活動の現状と今後の展望<br>～高田短期大学における自然体験保育実践教育の導入～                              | 福西朋子、林 韓燮、<br>長倉里加、武藤敦士  |
| 実践報告 | 自然保育と保育者養成ー大学の自然を保育者養成教育に活かすための取組み～                                                   | 福西朋子                     |
| 実践報告 | 自然体験保育のためのピオトープ整備の現状と課題ー高田短期大学における実践から～                                               | 武藤敦士                     |
| 文献紹介 | 時代の変化にともなう育児や保育に関する研究                                                                 | 前畑みち代 藤重育子               |
| 文献紹介 | 乳児と養育者との音楽的相互作用に関する海外の研究動向の紹介<br>ーL. K. Cirelliほか著<br>「乳児の社会的シグナルとしてのリズムとメロディ」（2018）ー | 山本敦子                     |

##### 3. 子育て情報発信

「情報誌きらきら」（隔月発行：年6回）の育文センター担当頁「子育てライフ応援隊！一緒に子育てはじめましょ」への子育て情報を掲載。

| 掲載<br>Vol | 掲載号<br>2年 | 発行<br>予定日 | 広場・相談<br>掲載日程 | テーマ（担当）                |                   |
|-----------|-----------|-----------|---------------|------------------------|-------------------|
|           |           |           |               | 子育てアドバイス               | おやこひろばより（ひろばスタッフ） |
| 56        | 5・6月      | 5/21(金)   | 6・7月          | 自然体験と科学の心（青木）          | 心と体を大切に           |
| 57        | 7・8月      | 7/ 9(金)   | 8・9月          | 上手に“甘える”ことの大切さ（山口）     | 夏を元気に食べよう！        |
| 58        | 9・10月     | 9/25(土)   | 10・11月        | あんなに…（福西）              | スポーツの秋を楽しもう！      |
| 59        | 11・12月    | 11/26(金)  | 12・1月         | 子どもの絵はどうやって見る？（亀澤）     | 季節を感じよう！お散歩遊び！    |
| 60        | 1・2月      | 1/25(火)   | 2・3月          | 子どもってかわいくって、おもしろい！（榎原） | 豆まきをしよう           |
| 61        | 3・4月      | 3/25(金)   | 4・5月          | 出会いの春、笑顔の表現は体全体で！！（権部） | 寝る子は育つ！心地よい「子守歌」  |



## V. 地域連携事業

### 1. みえ次世代育成応援ネットワーク

みえ次世代育成応援ネットワークに運営委員として参画し、県行政と地元企業や地域子育て団体と連携し、子育て支援活動事業に取り組みました。

「みえの子ども応援プロジェクト」ありがたいの一行詩コンクールでは応募した学生の中から1名が入選しました。

### 2. みえこどもの城連携協定による事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止の可能性もあったが、参加人数の制限や開催日数を増やすなど対策を講じ、連携協定事業「みんな集まれ！たかたん あそびひろば」を実施しました。大学からは11グループ(学生・教員137名)が参加し、特に1年生ゼミからの積極的な参加が目立ちました。

### 3. 地域啓発事業 主催講演会

子ども学科との共催で、自然保育をテーマにワークショップ形式で下記の内容で行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症のため今年度は中止となりました。(※次年度開催予定)

## VI. 津市委託事業

### 1. ホッとひろば事業 講師：橋本 景子（高田短期大学 非常勤講師）

乳幼児を子育て中の親を対象として、ほんのひととき子どもから離れてホッとできる時間に、子育て中の親同志が交流できる場を4回計画しました。しかし、2回は新型コロナ感染症拡大のため、小学生保護者対象のひろばは参加希望者がなかったため中止とし、結局1回の実施となりました。

開催日時：11月20日（土） 10：00～12：00 場 所：高田短期大学

参 加 者：6名 託児12名 託児学生6名

## キャリア研究センター

### 1. 地域連携事業

#### （1）「津市」「一身田商工振興会」連携・協力事業

#### 「一身田寺内町活性化への提案」報告会を開催

キャリア研究センターでは津市、一身田商工振興会と連携して、一身田寺内町の活性化に取り組んでいます。その一環として、キャリア育成学科オフィスワークコース中畑ゼミの学生が「一身田寺内町活性化への提案」をとりまとめ、一身田商工振興会、津市、一身田寺内町の館、一身田寺内町ほっとガイド会の方々を招き、7月5日（月）に報告会を開催しました。寺内町マップの作成や電子クーポンの利用、それらと連携させたウォークラリーなどのイベント開催、一身田寺内町のゆるキャラ「しんぼうくん」のグッズ開発、ホームページ・Instagramの改善などを提案しました。

#### 「一身田商工振興会Instagram」による情報発信

令和2年度より、一身田商工振興会のInstagramへの高田短大生による記事・写真の投稿を、ボランティア学生を募り行っています。地域の団体や有力店などからのフォローの他、一般の方々からのフォローも徐々に増加しています。お七夜の際には何本もの記事を上げ、一身田寺内町のPRを行いました。

## 「(仮称) 一身田寺内町ウォークラリーコース」の提案

先に挙げた「一身田寺内町活性化への提案」の中から、一身田寺内町を若い方も含め様々な方に歩いて知ってもらいたい、商店街も知ってもらいたいのので「ウォークラリーコースを考えて欲しい」という一身田商工振興会からの要望がありました。このため、キャリア育成学科オフィスワークコースの中畑ゼミの学生を中心に、令和3年度後期から4年度前期にかけて一身田寺内町のことを調べたり現地を歩いたりして、ウォークラリーコースの作成・提案を行うべく準備を進めています。

## 「I S E 芋でつながろう2021」プロジェクト

オフィスワークコース川喜田ゼミで、高田会館あかり屋、和菓子店「春乃舎」と「I S E 芋でつながろう2021」プロジェクトを立ち上げ、伊勢芋の皮を使った和菓子の商品開発活動を行っています。

12月には学生の要望を元に製作された試作品が春乃舎さまより提示され、ネーミング、パッケージデザインもほぼ決定しました。

令和4年5月21日(土)、22日(日)に高田会館で開催予定の物産展にてお披露目、発売となる予定です。



## (2) 三重県信用保証協会との連携事業

三重県信用保証協会と高田短期大学は地域への貢献、産業人材の育成、産業振興、創業・起業支援に寄与することを目的に連携協定を結んでいます。

産業人材の育成、創業・起業支援の活動の一環として、オフィスワークコース2年生のビジネス実務論の講義の中でお話を頂いています。今回は三重県信用保証協会の企画調整課浦田主査にお越しいただき、「企業経営とお金の関わりについて」と題して、7月9日(金)にお話をいただきました。

## (3) 百五銀行・百五総合研究所との連携事業

### 就業支援セミナー「業務効率が驚くほど上がるPowerPoint

#### 勝負をかけるプレゼン資料作成講座」の開催

百五銀行・百五総合研究所との連携事業として、就業支援セミナー「業務効率が驚くほど上がるPowerPoint 勝負をかけるプレゼン資料作成講座」を8月6日(金)に開催し、企業の方、一般の方20名に参加いただきました。講師は本学研究員の川喜田多佳子と寺家尚美が務め、キャリア育成学科オフィスワークコースの学生4名がサポートを行いました。

### 「相互理解から始めよう！企業と高短生によるパネルディスカッションー就活・採用のミスマッチを防ぐためにー」を開催

百五銀行・百五総合研究所との連携事業として、地域企業の人事担当者の方を招き、本学オフィスワークコース学生代表とのパネルディスカッションを11月15日(月)に開催し、就職講座の一講座として、オフィスワークコース1年生全員が参加しました。

企業（社会）や就職活動に対する不安から就職活動に取り組む一歩がなかなか踏み出せない学生があることから、企業の人事担当者から就職・採用活動や就職後の育成・定着について伺うとともに、それぞれが感じている思いや課題などにつき話し合い、相互理解を深めることでミスマッチを防ぎ、学生が就職活動（社会）への第一歩が踏み出せるよう、昨年度より開催しています。

最初に企業側3社（ICDAホールディングス、ミエデンシステムソリューション、百五銀行の人事・採用担当者）より自社の概要・業界の特徴、仕事の内容、採用後の人材育成や職場環境、求める人材などについてプレゼンテーションをいただき、その後学生パネリストよりの質問とそれへの回答、企業側から学生への質問と回答、フリートークと進めました。



#### （４）津市中央公民館との共催事業

##### シニアパソコン教室「Zoom入門講座」を開催

6月26日（土）に、シニアパソコン教室「Zoom入門」を開催しました。この講座は津市中央公民館と本学との共催事業で、ボランティア団体「情報ボランティアみえ」とキャリア育成学科オフィスワークコースの学生（鷲尾ゼミ2年生）が講師、スタッフとして支援しました。

#### （５）就業支援セミナーの開催

「クレーム対応基礎講座」を令和4年3月15日（火）に、長谷川聡子 研究員が講師を務め開催しました。当初8月17日（火）に予定していたもので、コロナ感染拡大のため延期しておりましたが、状況を十分検討の上コロナ対策を取って3月に実施しました。

講義の主な内容は、ピンチをチャンスに変えるクレーム対応、初期対応のポイント、クレームの事後活用と再発防止の考え方などです。

## 2. 委託事業

### （１）高等教育機関と連携したダイバーシティに関する講座等企画・運営について

本学も参加する高等教育コンソーシアムみえが「令和3年度高等教育機関と連携したダイバーシティに関する講座等企画・運営業務委託」を受託し、高等教育機関においてダイバーシティに関する授業や公開講座を行うとともにダイバーシティ推進の考え方を県内に広める活動を行うこととなりました。

この活動の一環として本学での講座開催依頼があり、1年生のキャリアデザインⅡ第11講「環境変化の中でのキャリア選択」

（12月16日（木））、2年生のマーケティング論第14講「これからのマーケティング」（1月14日（金））の中で、ダイバーシティの重要性と効果、SDGsの意識の高まりと影響などについて取り上げました。



## 介護福祉研究センター

### 1. 研究活動

#### 1. 定例研究会

介護福祉研究センターでは、地域の福祉施設等の関係者や介護福祉関係で活動されている方々や卒業生を研究員に招き、令和3年9月現在52名（内卒業生22名）の研究員が在籍しています。毎月一回の定例研究会を開催して情報交換を行い、地域還元できるよう学びあっています。

場所は、原則介護福祉研究センターまたは介護実習室で行っています。

**1) 第44回定例研究会 5月28日(金) 18:00～19:30 参加者 10名**

- ・テーマ「施設はどこまで住まいになりうるか」
- ・発表者：世古口 正臣 研究員
- ・内 容：高齢者の入居施設はどうあるべきか、在宅とそんな色のない施設生活はどうあるべきかについてお話いただきました。世古口研究員が施設長を務める美里ヒルズは平成17年の開設以来、ユニットケアと向き合い、理想のケアを模索してきました。その取り組みから見てきたケアのあり方について、従来型の施設と比較しながらご説明いただきました。



**2) 第45回定例研究会 7月16日(金) 17:00～19:00 参加者 10名**

- ・テーマ「『ケア (care) 』の意味についての検討」
- ・発表者：千草 篤磨 研究員
- ・内 容：前介護福祉研究センター長で、現在は特別養護老人ホーム報徳園施設長の千草篤磨研究員から、上記のテーマで、現在取り組んでいる研究内容についてお話いただきました。近年、福祉分野でカタカナ言葉が濫用されるなかで、「ケア (c a r e)」という言葉が何を意味し、どのような目的で使用されてきたのか、福祉分野での利用実態や先行研究の調査からご説明いただきました。



**3) 第46回定例研究会 10月13日(水) 17:00～18:30 参加者 10名**

- ・テーマ「文書情報演習Ⅰ 介護福祉コース授業実践報告」
- ・発表者：川喜田 多佳子 研究員、寺家 尚美 研究員
- ・内 容：文書情報演習の授業においてMicrosoft社が開発・販売している文章作成ソフトWordを正しく使うための基本操作を、どのような学びの目的と方法を設定して実践しているか、介護福祉コースをモデルに報告していただきました。

**4) 第47回定例研究会 11月10日(水) 17:00～18:30 参加者 8名**

- ・テーマ「自然体験保育の効果と高田短期大学の取り組み」
- ・発表者：武藤 敦士 研究員
- ・内 容：武藤研究員から本学周辺の里山を学生の学びに活用していくための様々な取り組みと、ビオトープの整備を通して学生の主体的な学びと自発的な活動の促進、将来的に子どもたちの参加にもつなげていくための今後の課題や展望等、非常に興味深いお話を報告いただきました。

**5) 第48回定例研究会 令和4年1月26日(水) 予定 → 次年度に延期**

- ・発表者：山下 千晶 研究員

**6) 第49回定例研究会 令和4年2月16日(水) 予定 → 次年度に延期**

- ・発表者：北川 なみ 氏 (卒業生：聖マッテヤ心豊苑勤務) ほか



## II. 実施事業

### 1. 介護福祉セミナー

#### 1) 第1回介護福祉セミナー

6月26日(土) 13:30～15:30

参加者：19名(一般、介護福祉施設職員、研究員等)

テーマ：「牛乳パックを使った服薬用手作り自助具」

講師：永田 穰氏(一般社団法人三重県作業療法士会監事)



#### 2) 第2回介護福祉セミナー

12月19日(日) 13:30～15:30

参加者：17名(一般、介護福祉施設職員、研究員等)

テーマ：「カラーセラピー～生活の『いろどり』を見る」

講師：服部 優子 研究員

### 2. 白子公民館の高齢者と学生の交流サロン事業

今年度も、例年通り白子公民館と連携して事業を実施する計画をしていましたが、新型コロナウイルス感染防止対策のため今年度の活動は断念しました。

### 3. 高校生等を対象とした介護啓発事業

1) 介護見学バスツアー 8月10日(火) 10:00～13:00

見学先：特別養護老人ホーム報徳園

参加者：高校生3名、保護者1名、日本語学校留学生8名、学生ボランティア5名、  
中川 千代 研究員、長谷川 恭子 研究員、川喜田 多佳子 研究員、  
寺家 尚美 研究員

内容：施設概要紹介、施設利用者との交流、食形態の異なるメニュー試食体験

## III. 介護の未来を考えようーあなたの思いやりを言葉にしてみようー作文コンクール

高田短期大学と本センターの主催事業である、「第1回(令和2年度)介護の未来を考えようーあなたの思いやりを言葉にしてみようー」作文コンクール文集を今年度に入り作成し、県内各小中学校に配布しました。文集は、県内介護福祉施設等、各関係機関へも配布し広報しています。

同時に、第2回(令和3年度)作文コンクールの募集を県内小中学生向けに行い、638作品の応募がありました。

募集期間：7月20日(火)～9月17日(金)

対象者：三重県内の小学校に通う5・6年生および中学生

表彰式：10月30日(土) 13:30～14:30

※最優秀賞と優秀賞は、介護福祉研究センター紀要「高田短期大学介護・福祉研究」第8号に掲載予定です。

また、第2回作文コンクール文集も3月発行で作成しました。



### 第2回介護作文コンクール表彰式

10月30日(土) 13:30より表彰式を来賓出席の下、本学講堂にて実施し、優秀作品の朗読(4作品)も行いました。その様子は新聞(三重タイムズ)に掲載されました。



## V. 研究成果の発行

### 1. 介護福祉研究センター紀要「高田短期大学介護・福祉研究」第8号（令和4年3月発行）

執筆希望書を編集委員会で協議し執筆者を決定しました。研究論文2編、調査報告1編、研究ノート2編、資料・文献1編に原稿依頼しました。

高田短期大学介護・福祉研究第8号執筆依頼一覧

\*掲載順は各種別順

| 種別        | テ ー マ                                    | 執筆者             | 頁  |
|-----------|------------------------------------------|-----------------|----|
| 研 究 論 文   | 母子生活支援施設を例に考える社会福祉実習指導における「生活問題の把握」の重要性  | 武藤 敦士           | 12 |
| 研 究 論 文   | 「価値交流学习」から見えてきた「対話」的な学び～多様な価値観への気づきの醸成～  | 中川 千代           | 11 |
| 調 査 報 告   | 高齢者施設を対象としたレクリエーション実態調査                  | 長谷川 恭子          | 8  |
| 研 究 ノ ー ト | 介護現場と養成施設における実習指導と相互ニーズについての意識 調査に関する一考察 | 服部 優子           | 10 |
| 研 究 ノ ー ト | 匿名を求めさせる社会 － 知る権利と、知られない権利の間での、障害者の権利 －  | 山本 啓介           | 12 |
| 資 料 ・ 文 献 | 短歌に見る脳性麻痺者の生き方－無名歌人・藤本正則の作品紹介－           | 植村 哲也、<br>千草 篤磨 | 10 |

## その他のボランティア活動

本学の教育理念である「やわらか心」の実践の場として、全学生にボランティア体験活動プログラムを組み実践させることへの取り組みをしています。本年は昨年度に続き、新型コロナウイルスの影響を受け、感染防止対策面から、従来の活動を大幅に見直したため、オフィスワークコースのボランティア実践履修生、ボランティア、国際交流部員の応募者に限っての限られた中での活動となりましたが、三重県教育委員会が推進する「高等教育機関の専門的な知識や技能を生かす教育プログラム」、特に、鈴鹿市立白子公民館、鈴鹿市一ノ宮児童センターでの事業には積極的に取り組むことができました。また、県立白山高校との交流協働事業、名松線をテーマとしたポスター制作・地域活性化に向けた取り組みをスタートさせました。全国的にも注目されるユニークな活動である三重県警察本部との協働プログラム、サイバー犯罪被害防止活動に力を入れて取り組んでいます。

参加延べ人数／計140名（こども学科：63名 オフィスコース：77名）



## 学内施設設備の整備事業の実績

### 事務局内 複合機 2台

施行業者 : 富士フィルムビジネスイノベーション(株)  
施行費用 : 904,200円、1,086,000円  
施工時期 : 令和3年6月



### 音楽室Ⅰ グランドピアノ

施行業者 : (有) 荒川楽器  
施行費用 : 616,000円  
施工時期 : 令和3年7月

### 音楽棟屋上防水改修工事

施行業者 : 日本土建(株)  
施行費用 : 3,245,000円  
施工時期 : 令和3年9月～10月

### プロジェクト設置工事

納入業者 : 富士フィルムビジネスイノベーション(株)  
納入費用 : 2,929,850円  
納入日 : 令和4年3月



### 【命の大切さを考える教育の推進】

本校の建学精神である「仏教の教え、親鸞聖人の教えに基づく宗教的情操教育」に基づき仏教教育による人間味の豊かさを求め、規律精神を基とした行動力の育成と基礎学力の充実錬磨に努め、広い視野から社会貢献できる人間の養成を目指した教育を実践しています。

月1回の本山参詣や週1時間の一般仏教の授業及び校外宿泊学習での平和学習等において自他共にかけがえのない「命」を尊重し、人間は一人で生きられない存在であり、他者と共感共有し支え合って生きる重要さに気づけるよう努めています。特にいじめの未然防止といじめを許さない、いじめをさせないことなどを視野に入れて、行事や授業に反映させています。いじめ・体罰・ハラスメントについては、学期毎にアンケート調査を実施しています。

また、本山参詣で仏教講話を聴聞することを通して、聞くことの大切さ、その受容により共感する大切さを身につけることにつながると考えています。これらの体験活動を基盤として人権学習とも連携しあい、社会でのマナー、コミュニケーション能力を向上させ、自然との共生に関心を持って身近な日常生活の中で思いやりと慈しみのある生き方を涵養しています。



### 【人権教育研修の推進】

本校は、宗祖親鸞聖人の教えを建学の精神として、宗教的情操を養い、互いの人格・人権を尊重できる人物の育成に努めています。生徒たちには「うわさや偏見に流されず真実を確かめ、自分自身の考えを持つ」「差別に立ち向かい行動する力をつける」「他者の異なった価値観を尊重しながら仲間同士のつながりを強める」ということを具体的な目標として人権教育を実施しています。

生徒に対する人権教育については、各クラスでのLHRなどを通じて、身近な人権課題を考える機会をつくり、日ごろから人権を意識するように努めています。そして、学年ごとに人権テーマを設定して、学年人権LHRを実施します。文化祭での人権展示について、高Ⅲ・6年、高Ⅰ・4年、中Ⅰ・2年はテーマに従った人権メッセージを全員が作成して、フレンドシップで検討し文化祭で展示発表しました。今年度のテーマは『『コロナ感染者に対して差別的な気持ちを持った』や『何気ない言葉だったが相手が実は嫌だと感じていた』など、相手を傷つけてしまい後悔したできごとを教えてください。』でした。また、高Ⅱ・5年、中3年は校外宿泊学習の目的地の変更がありましたが、取り組んでいた平和学習の事前学習をまとめました。12月の二学期末考査後に、高校は学年別で、中学校は全体で、学年人権LHRとして人権講演会を実施しました。高Ⅲ・6年は、「卒業するみなさんへ」と題して本江優子さん（反差別・人権研究所みえ）に講演して頂きました。高Ⅱ・5年は、「部落差別を解決するために一部落問題は自分には関係ない？」と題して原田朋記さん（反差別・人権研究所みえ）に講演して頂きました。高Ⅰ・4年は、『『障害』者の人権～自分の問題として考える～』と題して中森洋子さん（反差別・人権研究所みえ）に講演して頂きました。中学校は、「自分の立つ位置を考えるー誰かのためではない自分のためにー」と題して原田朋記さん（反差別・人権研究所みえ）に講演して頂きました。地域の人権活動として、白塚小学校で開催された一



身田中学校区子ども人権フォーラムと一身田中学校で開催された一身田中学校区人権フェスティバルに、中学校生徒会が参加しました。

教職員に対する人権研修につきましては、人権教育推進担当を中心に県教育委員会人権教育課や人権センター主催の研修会へ積極的に参加して、成果を職員会議などで還元しています。今年度は、6月～10月の毎週火曜日に三重県人権センターで開催されていた第25期三重県人権大学講座を、人権教育推進担当の前田望見教諭が受講しました。3月10日（木）から17日（木）を人権ウィークとして、全校的な人権について考える機会としました。その中で、3月10日（木）1限目に全クラスで人権に関する授業を実施しました。各授業担当の先生方から、独自の視点で人権に関する授業を行い、生徒が人権について学ぶだけでなく、教職員も人権について考える機会となりました。また、例年8月に実施している人権教育推進委員会対象のフィールドワークは、県教育委員会による「性の多様性を認め合い、誰もが安心して暮らせる三重県づくり条例」の施行に伴い「学校における人権に配慮した対応や人権教育の取組について」をテーマとして、性の多様性に関するこれからの学校の取り組みについて学ぶ全教職員の研修会として、3月の人権ウィークの一環として実施しました。

人権感覚を磨くことは今の自分を見つめ直すことであり、他人任せにすることでは身に付きません。様々な課題を抱える厳しい現代社会の中でいかに生きるかを模索し、今後も地域や家庭と連携を取りながら人権教育を着実に進めていきたいと考えています。



## 【きめ細やかな学習指導の推進】

報道によればコロナ禍において休校期間中に実施したオンライン授業は、学生や生徒に对面授業が怖い、人の表情が気になって仕方がない、先生の生の声が遅すぎてイライラするなどといった思いがけない影響がでているケースがあるということです。今後も継続的に、ウイズコロナあるいはポストコロナにおける生徒の変化や多様化する生徒の状況、そして個々の生徒の学習進度や達成度に応じた綿密な指導を行うとともに生徒の学力及び特質に応じた教育活動を模索・検討していく必要があります。

綿密な計画に基づき通常授業を実施する以外に、SHRや放課後の小テスト、補講、夏期講習などの時間を設定し、通常の授業では導入しにくい反復学習や発展的学習の機会を多く取り入れました。また、考査後に個別懇談、一学期末には保護者を交えた三者懇談などを行い、生活指導も含めた学習指導や進路実現のためのサポートの充実を図りました。さらに、夏季休暇中においても、各学年で工夫したセミナー等を実施し、苦手な分野の克服やキャリア教育の充実に努めてきました。こういった地道な活動の成果はすぐに目に見えて現れるものではありませんが、生徒の内面的成長と自己実現に繋がるものであると信じ今後も努力を重ねていきたいと思っています。

不登校や精神的な悩みを抱える生徒に即応するため、教育支援委員会、生徒指導部、各学年、スクールソーシャルワーカー、養護教諭、カウンセラーが連携して保護者や生徒の心理的負担を少しでも軽減できるよう、一人ひとりに寄り添った心のケアに努めてきました。

新型コロナウイルス感染症対応として、休校期間中もオンラインで授業やホームルームを実施したり電話による生徒・保護者との会話の機会を増やすなど、生徒が安心して日常を過ごすことがで

き、また充実した学校生活が送れるようにきめ細かく生徒の実情を把握し、繰り返し学習や習熟度に応じた個別指導に取り組みました。今後もこういった地道な努力を弛まず行い、生徒の学習意欲と学力の向上に努める所存です。

## 【ICT教育とアクティブラーニング対策の推進】

休校期間中に行ったオンライン授業等以外にも、Classiを利用した健康観察や、MeetやZoomを利用したリモートによる講演、キャリア研修等、平常の教育活動におけるICT化が急速に進みました。

3年コースでは、基礎学力の定着を目指して、学習補助教材としてスタディサプリおよびスタディサプリイングリッシュを導入しました。

ClassiとGoogle Workspace for Educationは学校全体で活用し、コラボレーションの促進、指導の効率化、学習環境のセキュリティ確保の実現を目指しました。また、NTTのビジネスチャットであるeLganaは教員間のコミュニケーションツールとして有用でした。電子黒板を活用した授業では、日々教員間で利用に関する工夫と改善が行われ、図やグラフ、動画、資料、教科書などを補助教材として積極的に利用するとともに、板書は従来通り黒板にまとめるという形式が定着してきました。

GIGAスクール構想における「生徒1人に1台の端末」環境の構築に向けて、本年度は7月より中1年に対しiPadを導入しました。リモートによるグループ研究、校外活動などの場で有効に機能し、生徒の学習意欲の向上に繋がったと考えます。新年度は、新中1年・新高1年にも順次導入し、ICT環境のさらなる充実に努めたいと考えています。

新型コロナウイルス感染症対応により、アクティブラーニングはまだ規制下にあります。3密を避け、フェイスシールドを利用するなどして可能な限り生徒の主体的な学びの伸長に努めました。



## 【キャリア教育の推進】

生徒が育つ社会環境の変化は生徒たちの心身の発達にも影響を与えています。加えて産業・経済の構造的変化、雇用の多様化・流動化等は、生徒たち自らの将来のとりえ方にも大きな変化をもたらしています。こうした状況下で、変化を恐れず、社会に対応していく力を育てることが不可欠となってきました。生徒が未知の知識や体験に関心を持ち、仲間と協働して学ぶことを通して、未経験の体験に挑戦する勇気とその価値を得ることで、生涯にわたり学び続ける意欲を維持する基盤を作り出せるものと考えています。

社会体験等の校外活動は、他者の存在の意義を認識し、向社会性を高めたり、社会との関係を学んだりする機会となり、将来の社会人としての基盤づくりともなると考えられています。その基本に基づき、本校は、ほとんどの生徒が進学を希望している関係上、進路情報の豊富な企業や大学と連携し、自己研鑽の一助としています。

## 進路・職業観を考える学習会等

|     | 鈴鹿医療科学大学連携講座                 | 進路ガイダンス            |
|-----|------------------------------|--------------------|
| 対 象 | 高Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ年                      | 高Ⅱ・Ⅲ年              |
| 内 容 | 薬学・看護・医療技術学部関係者による医療系学部の現状説明 | 大学・短大・専門学校の個別相談会   |
| 実施日 | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止         | 12月7日（火）高Ⅱ年 380名参加 |
|     | 皇學館大学連携講座                    |                    |
| 対 象 | 高Ⅰ・Ⅱ年                        |                    |
| 内 容 | 文学部・現代日本学部の教員による出張講義         |                    |
| 実施日 | 新型コロナウイルス感染症第6波により中止         |                    |

### 4年生キャリア研修

上述のキャリア教育の方針に基づく取り組みとして、例年、夏季休業中を利用し、4年生を対象に東京キャリア宿泊学習を実施しています。本年度で11年目となる体験型キャリア学習ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、残念ながら今年度は従来のような東京でのキャリア学習を中止とし、高田高校でオンラインを利用して10月11日（月）・12日（火）・14日（木）の3日間で下記の4つのプログラムを実施しました。

- ① 『SDGs＋大学選び』 各大学のSDGsに向けたさまざまな取り組みを知ることで、学び主体の、より良い大学選びにつなげる。
- ② 『CASプログラム（キャリア開発）』 職業に対する意識を理解し、働く理由を考える。社会人とのコミュニケーションを通して、職業観・勤労観を学ぶ。
- ③ 『日経から学ぶ探究学習プログラム』 社会課題を自分ごととして考えることで、より深い学びにつなげる。
- ④ 『卒業生による講演』 NHK大津放送局 西河篤俊氏「メディアや海外で働くこと」

東京キャリア研修の代わりに行った取り組みでしたが、予想以上に内容が充実しており、「生徒の視野を広げる。進路意識を高める。」といった当初の目的を十分果たすことができました。

最初のプログラム「SDGs＋大学選び」では、同じSDGsの目的に対して各大学・各学部学科が様々な取り組みを行っていることを知ることで、あるテーマに対して多面的・多角的にアプローチできることを生徒に理解させることができました。

特に、生徒の反応が良かったのは「CASプログラムOnline」でした。スライドや動画によって「将来の働き方」について具体的にイメージすることができ、さらに多種多様な考えを知り、生徒は自分自身について段階的に分析・理解し、働く上での自分の軸が何かを見いだすことができました。

日経から学ぶ探究学習プログラムでは、新聞記事の背景を考えたり、新聞記事を「自分ごと」としてとらえたりすることで、生徒が社会との関わりに目を向けることができました。

すべてのプログラムの共通点は、『「自分を知ること。相手を知ること。社会を知ること。」が大切である。』ということでした。最終日の講演でも同じことを大切にすべきという話をしていただき、講演がキャリア研修の総括となりました。

この研修を経て、生徒の雰囲気・意識に変化が見られ、研修途中から、社会人の方に積極的に質問する生徒が増え、質疑応答の時間が不足するほど質問の数が多くなりました。また、何となく世



間的に良い大学を選択するのではなく、自分のやりたいことを多面的に見つめ直し、文理にとらわれず進路について考えるようになった生徒も増えました。主体的に取り組む生徒が多くなり、生徒の進路意識の高まりを実感しました。

文理選択を控えた4年生にとって、大変有意義な研修でした。



### 比叡山郊外宿泊学習

中2年が中学校伝統行事、比叡山校外宿泊学習に参加しました。例年中1年で行う行事ですが、コロナ禍の為、昨年度は中止。2泊3日から1泊2日に変更し、2班に分けて、本年実施しました。a・b組は7月26日（月）に、c・d・e組は27日（火）に出発しました。

行程は両班同じで、初日に横川（横川中堂・恵心堂・四季講堂）、西塔（浄土院・釈迦堂）を参拝しました。炎天下にもかかわらず、生徒達は諸堂での説明に熱心に耳を傾け、色々な知識やその背景などを吸収しました。二日目は、早朝6時に根本中堂を参拝、読経と講話を拝聴しました。厳粛な雰囲気の中、仏教の世界と向き合いました。その後、東塔（阿弥陀堂・大講堂・戒壇院）と急な山道を下った先にある無動寺谷（大乘院）を参拝し、講話を拝聴しました。

期間が短縮されただけでなく、感染症予防のため、食事の仕方や宿舎での生活の仕方にも制約が課せられましたが、従来の行程の主要なものは実施することができ、仏教と比叡山、そして親鸞聖人との関わりを学ぶことができました。又、入学後初めての宿泊学習でお互いの関係を深めることもでき、この経験が今後の成長へとつながっていくものと期待しています。



### 【大学等との連携事業】

学習・進学意欲の向上、各分野への興味・関心の深化を目的として、各学年・コースで、三重大学や鳥羽水族館等と連携事業を毎年実施しておりますが、残念ながら今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、鳥羽水族館との連携事業は中止、三重大学との連携事業はすべて本校で実施できる講座のみの実施となりましたが、三重大学の先生方の協力により、多くの機材をお借りすることができ、23講座を実施することができました。また、三重大学が主催する三重大学サマーセミナーもオンラインでの開催となりましたが、多くの生徒が積極的に参加しました。

三重大学との連携事業の詳細は以下のとおりです。



- ① 三重大学への依頼講座数：28講座（依頼講師16名）
- ② コロナウイルス感染防止のため三重大学の構内は立ち入り禁止となる。そのため5講座を中止し、高田高校内で23講座を実施。
- ③ 実施講座内容

#### 【人文学部】

「社会の法則を探る」 人文学科 中川 正 教授

内容：日常生活に存在する「法則」を発見し、実生活に応用するという「法則探検」のワークショップを通して、社会科学的な思考法を学ぶ大学での学生主体型授業の一端を体験する。

日時・場所・参加生徒：

- |           |      |       |                   |
|-----------|------|-------|-------------------|
| 7月30日（金）  | 視聴覚室 | （参加者） | 29名（高Ⅱ年22名・高Ⅲ年7名） |
| 8月4日（水）   | 大会議室 | （参加者） | 10名（高Ⅰ年）          |
| 10月15日（金） | 講堂   | （参加者） | 207名（高4年）         |
| 12月23日（木） | 視聴覚室 | （参加者） | 40名（高5年）          |



「史料から学ぶアメリカ社会」 人文学科 森脇 由美子 教授

内容：過去の英字新聞の記事を読み、当時の奴隷制度の実態を読み解き、奴隷制度について考える。

日時・場所・参加生徒：

- |           |         |       |           |
|-----------|---------|-------|-----------|
| 7月12日（月）  | 講堂      | （参加者） | 207名（高4年） |
| 11月22日（月） | 5号館選択教室 | （参加者） | 24名（高5年）  |



#### 【教育学部】

「1つの文学作品を非くべ読みで精読する」

国語教育 和田 崇 准教授

内容：一つの文学作品を日本語と英語の両方から読み解き、精読する。

日時・場所・参加生徒：

- |         |      |       |          |
|---------|------|-------|----------|
| 8月3日（火） | 大会議室 | （参加者） | 12名（高Ⅰ年） |
|---------|------|-------|----------|



## 【工学部】

「ロボット制御」 工学研究科 駒田 諭 教授 工学研究科 山村 直紀 准教授

内容：LEGO ロボットを組み立て、コースに沿って走るようにプログラミング実習を行い、ロボットの制御について学ぶ。さらに三重大学の研究室とWEBでつなぎ、研究中の各種ロボットのデモンストレーションを見学する。

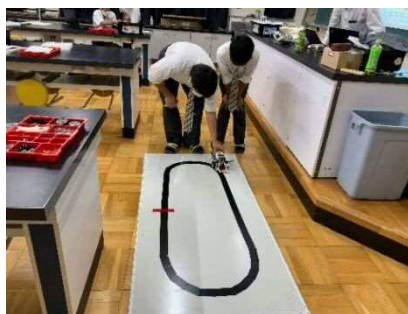
日時・場所・参加生徒：

### 【講義のみ】

7月13日（火） 大会議室 （参加者）207名（高4年）  
11月12日（金） 物理室 （参加者）34名（高5年）

### 【事前学習（講義及び実験）】

7月19日（月） 物理室 （参加者）11名（高1年）  
8月2日（月） 物理室 （参加者）11名（高1年）



「磁石とその応用技術」 工学研究科 藤原 裕司 准教授

内容：磁石は、カード等に多く使われている。演示実験を体験しながら、身の回りにある磁石の働きについて考える。

日時・場所・参加生徒：

11月16日（火） 物理室 （参加者）26名（高5年）



「物理基礎実験」 工学研究科 藤原 裕司 准教授

内容：自分で作製した回路に磁石を使ったモーターを接続し、簡単な物理実験を行う。

日時・場所・参加生徒：

7月26日（月） 物理室 （参加者）29名（高II年16名・高III年3名）





## 【生物資源学部】

「ウイルス感染の仕組み」 生物資源学研究科 稲垣 穰 教授

内容：インフルエンザウイルスやコロナウイルスを例に挙げ、ウイルスの特徴や仕組みを学んだ上で、治療薬や感染防止について考える。

日時・場所・参加生徒：

10月15日（金） 視聴覚室 参加者 207名（高4年）

11月22日（月） 視聴覚室 参加者 54名（高5年）



「光るタンパク質を調べよう」 生物資源学研究科 三宅 英雄 准教授

内容：ゲンジホタルからルシフェラーゼ遺伝子を単離して作製したルシフェラーゼの組換え酵素を様々な条件で反応させ、その時の様子を観察する。

日時・場所・参加生徒：

12月23日（水） 生物室 参加者 27名（高5年）



「PCRによるDNAの増幅」 生物資源学研究科 荻田 修一 教授

内容：ヒトの第一染色体にあるVNTRという領域をPCRという技術を使って増幅し、観察する実験。VNTRとは、犯罪捜査や親子鑑定、個人識別に使っている領域。

日時・場所・参加生徒：

8月19日（木） 生物室 （参加者）11名（高11年9名・高5年2名）

10月30日（土） 生物室 （参加者）31名（高5年）



「持続可能な未来のために」 生物資源学研究科 坂本 竜彦 教授

内容：住んでいる地域でグループに分かれ、自分の地域にある自然エネルギー等に注目し話し、地域活性化への興味・関心を深め、地元の活性化について考える。

日時・場所・参加生徒：

7月26日（月） 大会議室 （参加者）37名（高1年13名・高2年24名）



#### 【医学部附属病院】

「三重県の救急医療について」 救命救急センター 今井 寛 教授

内容：三重県の救急医療の実情について、実体験も基に紹介する。

日時・場所・参加生徒：

7月5日（月） 視聴覚室 （参加者）68名（高5年）



#### 【教養教育院】

「医学医療を支える解剖生理学」 太城 康良 教授

内容：解剖生理学の方面から、心臓・血圧を中心に学習しながら、高校の学習内容が大学の学術研究にどう活かされるのかを紹介する。

日時・場所・参加生徒：

8月5日（木） 大会議室 （参加者）30名（高1年）



#### 【地域人材教育開発機構】

「見つけよう、自分にあった学問分野」 宮下 伊吉 准教授

内容：SDGsマップを使いながら、大学生から大学で行っている研究や学びについて紹介してもらい、自分の将来について考える。

開催日時・参加生徒

5月25日（火） （参加者）207名（高4年）

6月 7日（月） （参加者）26名（高5年）



## 【部活動の推進】

部活動は、学年や学級を超えて共通の興味と関心を追求する中で体力や技術の向上はもとより、マナーやルールを守る社会性を身につけ、自らの意思で参加するという自主性を養い、活動を通して個性の伸長を図ることを目的とする教育活動の一つです。

集団活動の中で協力することを学び、より高い水準の技能や記録に挑戦する中で、部活動の楽しさや喜びを感じ、学校生活に豊かさ

をもたらすだけでなく、生涯にわたってスポーツ・文化・芸術・科学に親しむ豊かな人間性を培うことを目指し、継続的に取り組んでいます。

中学生においては人間形成をするうえで重要な時期であるため、継続して続けることに関して部顧問と密接に連携し、自分を律し他人を思いやることや社会のルールを学ぶ一助としています。

主な活動実績はつぎの通りです。

### 令和4年3月現在のクラブ活動所属生徒数

|      |                |     |      |               |
|------|----------------|-----|------|---------------|
| 高等学校 | 文化部            | 22部 | 525名 | (男146名・女379名) |
|      | 運動部            | 17部 | 615名 | (男347名・女268名) |
|      | 生徒会直属部、同好会、愛好会 | 9部  | 122名 | (男28名・女94名)   |
|      | 計1,262名        |     |      |               |
| 中学校  | 文化部            | 8部  | 150名 | (男81名・女69名)   |
|      | 運動部            | 11部 | 368名 | (男206名・女162名) |
|      | 生徒会直属部、同好会、愛好会 | 8部  | 60名  | (男18名・女42名)   |
|      | 計578名          |     |      |               |

### 活動実績

#### 高等学校

##### 運動部

インターハイ  
全国大会出場

男子卓球部・女子柔道部・馬術部・なぎなた部

国民体育大会出場

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

その他東海大会  
出場

陸上部・剣道部・女子バレー部・新体操部・女子卓球部・男子柔道部

##### 文化部

全国大会出場

文芸部・箏曲部・将棋部・放送部・囲碁同好会

#### 中学校

##### 文化部

全国大会出場

クイズ研究同好会



## 【危機管理・安全教育への取り組みの推進】

火災、地震など予測不可能な緊急事態が発生した場合、発生時に冷静な判断力、速やかな行動力を発揮できるよう、防災意識の高揚に取り組むべき事業を展開しています。

近年は想定をはるかに超える豪雨災害が頻発するなど、防災教育の重要性はますます高まっています。本校ではこのような予測不可能な緊急事態が発生した場合でも、災害に対する正しい知識に基づき、生徒が自ら冷静な判断力、速やかな行動力を発揮できるよう、4月28日（水）の津波対応避難訓練をはじめとする防災教育に取り組んでいます。また、6月に非常用リチウムイオンバッテリーを導入し、停電時の対応に備えています。

今年度は9月10日（金）に津消防署と連携し、合同避難訓練を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス「緊急事態宣言」が発令されたことにより、昨年度に引き続き中止となりました。

危機管理の取り組みとしては、学内機密情報の保護のため、パソコンや端末記憶装置の持ち込み等について、取扱規則を定めて個人情報の漏洩及びウイルス等の感染がないように、周知徹底を図っているほか、インターネット上での誹謗中傷等の書き込みなどにも傾注しています。保護者への連絡手段としては、「あんしんネット」、「きずなネット」等により、最新情報を随時的確に提供しています。



## 学校安全・生活指導、保健計画の推進

学校安全管理の立場から道路交通法改正に伴う交通ルール遵守の呼びかけ、自転車の校内安全点検などを行っています。また、自転車が絡む交通事故が多発していることから、津ドライビングスクールと三重中央自動車学校へ講師を依頼し、新入生に対して自転車交通安全講習を例年実施していますが、本年度は新型コロナウイルス感染防止のため中止となりました。本校は約800名の生徒が自転車通学をしており、学校周辺は狭い道路や見通しの悪い交差点が多いこともあり、事故をおこさないよう基本的なルールや事故の悲惨さを訴え、知識や技術の向上に努めるとともに生徒と教員が街頭登下校指導をするなど、マナーアップや安全意識の高揚にも傾注しています。

このほか社会生活面において、4月13日（火）には携帯電話・スマートフォンの使用マナーやネットワークにつながることの利便性、SNSの危険性に関する「スマホ携帯安全教室」を開催し、10月30日（土）には「薬の正しい使い方」と題して、学校薬剤師の秦賢司先生による薬物乱用防止教室を実施しました。

また、18歳より選挙権が与えられたことにより、12月8日（水）に楠井法律事務所へ依頼し、高校2年生および5年生を対象に「有権者としての心構え等について」をテーマに講演を実施し、主権者としての自覚と選挙への意識の高揚を図ることができました。

## コロナウイルス感染拡大防止対策

学校における新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、継続して生徒、教職員の毎朝の検温体調のチェックをC l a s s iのアンケート機能を利用して毎日行っています。

また、一般的な感染症対策「3つの密」を避ける行動やマスクの着用、手指消毒、換気の徹底等について生徒、教職員ともに取り組んでいます。手指消毒については、各玄関、昇降口、教室にはアルコール消毒液を設置し登下校時、授業前後には手指消毒を各自行うよう勧奨してます。特に昇降口、玄関に設置した足踏み式のアルコール消毒については、手指消毒の際に手でポンプを触ることなく消毒ができるため衛生上も安心感が得られています。各校舎の共有部分の消毒については、引き続き教職員でアルコールによる消毒を1日1回放課後の清掃時間に実施しています。教員の昼食時の感染防止対策としては、大会議室にパーテーションを設置し昼食場所としています。

このほか、コロナウイルスの殺菌に有効とされているUV-Cの室内空気殺菌器を4台購入し、大会議室及び保健室に2台ずつ設置しました。また、小型オゾン除菌機を15台購入し、第一体育館学生ホール4台、本館2階学生ホール4台、自習室1台、職員室6台を設置しました。今後も、コロナウイルス感染拡大防止に務めるべく、新しく正しい情報を提供できるよう情報収集に努めていきたいと思いをします。



## 【国際理解教育推進】

|     |                                                                                                                                               |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目 的 | <p>国際感覚豊かな人間育成のため、授業や諸行事に参加しながら異国の学生生活を体験し、友好を深めること。</p> <p>互いの生活習慣や文化を学び、今後の交流振興に貢献すること。</p> <p>受け入れ家庭が、生徒とともに学び、生活することにより異文化理解を深めていくこと。</p> |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### オーストラリア交換留学

平成6年（1994）より実施しているオーストラリアのセントモニカ校・パレード校との交換留学は、残念ながら今年度も昨年度とおなじく、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止いたしました。代替交流として少人数ではありましたが、オンラインにて生徒同士の交流を深めました。

### イギリス語学研修

イギリス語学研修は、現地の語学学校インターナショナルクラスで他国の生徒とともに学ぶ英語学習を主眼に置いた研修プログラムで、中学3年生・高校生を対象に実施しています。研修中はホームステイをすることにより、英語の運用能力の向上や英語学習へのより一層の動機付けを促し、学習意欲を育むだけでなく、他国の生徒との交流が国際人としての感覚を養うことができます。

しかし、残念ながら今年度も昨年度とおなじく、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止いたしました。



## イングリッシュ・キャンプ

本校ＡＬＴと外部からのゲストＡＬＴを講師として、高校１年次夏季休暇中、Ⅱ類特別選抜クラスの生徒を対象に「イングリッシュ・キャンプ」を実施しています。生徒達は、オールイングリッシュで様々なアクティビティに取り組んだり、一学期中の授業を通して準備してきたプレゼンテーションを保護者参観の中で発表するなど、英語や異文化への興味・関心を深めたり、スピーキング力を高める良い機会となっています。

今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年通りの規模での開催はできませんでしたが、代替行事として秋に「日本文化」をテーマとしたプレゼンテーション大会を実施しました。ＡＬＴを含む英語科教員中心に審査をし、生徒たちの成長を促す良い機会となりました。

## 「すららネット」サービスの導入

本年度は、経済産業省が実施する「ＥｄＴｅｃｈソフトウェア・サービスの導入実証事業」に採択された「すららネット」サービスを試験導入しました。ＥｄＴｅｃｈは、テクノロジーで学校現場の課題を解決するもので、文部科学省が提唱する新時代への対応であるＳＴＥＡＭＳ教育（Ｓ・サイエンス、Ｔ・テクノロジー、Ｅ・エンジニアリング、Ａ・アート、Ｍ・マセマティクス、Ｓ・スポーツといった科学、技術、工学、美術、もしくは、リベラルアーツ・教養、数学、体育等の各教科での学習を実社会での課題解決に生かしていくための教科横断的な教育）環境を構築するものです。高１年を中心に、個別最適化学習の試験的実践のため、英語文法力不足を克服する教材として利用しました。

## 教職員海外研修

教職員の海外研修の成果については、職員会議・学校校報・研究紀要において報告を行い、他の教員と情報共有することで教員全体の意識向上を図っており、その成果が生徒へ還元されていくことで、教育の質の向上につなげています。

今年度本校におきましては、新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑みて、教員の派遣は行いませんでした。

## 【学校自己点検・学校関係者評価】

### 学校自己評価

学校自己評価については、例年「学校の教育目標や教育活動の内容・方法、教育成果、学校の管理運営などについて、より一層の教育活動の充実を図る」という趣旨で教育活動全般にわたる自己点検・評価を行い、継続的な改善更新、改革を図っています。

| 令和３年度の目標         |                                                                                                                                           |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目指す学校像<br>（教育理念） | 生徒・保護者・社会の期待に応え、伝統を重んじ信頼される私学を目指す。<br>校訓「言行忠信 表裏相応」の精神のもと、人間性豊かな人材を育成する。<br>崇高な志と社会に貢献できる人材を育成する。<br>自分の夢の実現に向けて、自ら学び、自己を律し、行動できる人材を育成する。 |



|          |                                                                                          |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 重点努力目標   | 人権・同和教育の推進、進路指導の徹底、基本的生活習慣の確立、規範意識に則った行動力を育成する、学力の向上と充実錬磨に努める、環境を大切にし、世界に貢献できる人材の育成に努める。 |
| 点検・評価の日程 |                                                                                          |
| 令和３年 ６月  | 前年度学校自己評価への評価結果報告及び継続的取組の促進                                                              |
| 令和３年 １２月 | 評価項目の確認と評価方法の決定                                                                          |
| 令和４年 ３月末 | 評価実施                                                                                     |
| 令和４年 ４月  | 集計と分析                                                                                    |
| 令和４年 ５月  | 職員への結果の公表、評価結果の公表                                                                        |

## 授業アンケート

生徒がよい授業を受け、学力向上につなげるには、教員一人ひとりが授業改善に取り組む必要があります。教員自らが自分の授業を振り返り、自らの課題について分析できるよう生徒による授業アンケートを三学期に実施し、翌年度に各教員に詳細を知らせるとともに、保護者には概要を公表する予定です。

## 学校関係者評価委員会

自己評価や保護者、学校関係者による評価の実施・公表により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者や地域住民からの理解と参画を得ながら、学校・家庭・地域の連携協力により生徒の穏やかな成長を図り、健全な学校づくりを推進することを目的としています。

なお、評価委員は委員数８名（教育関係者、地元企業、地域自治会、保護者会）から成り立っています。

昨年度に続き今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。

## 【教職員資質向上への取り組み（初任者研修、学内研修、中堅研修など）】

教育を取り巻く環境が大きく変化する中で学校教育に対する期待に応えるには、教員の資質能力向上とスキルアップが必要なため、それに対応できる教員研修を推進していきます。

多種多様な資質能力を持つ人材の集まりである教員集団が連携することにより充実した教育活動が展開できることから、その能力の保持のためにも研修は重要と考えられます。

研修については、これまでの自分自身の教育活動を振り返るとともに、教育界の最新情報を理解して将来への課題を自覚し、これからのリーダーシップを発揮するためのものです。

本校のほとんどの生徒が大学進学を希望していることから、大学ごとの入試問題検討会にも積極的に参加し、大学によって毎年変更される問題傾向や入試情報を少しでも生徒に有利な環境に導くべく把握に努めています。

また、公立中学校へ出向いて行う模擬授業は、本校教員の資質を問われる関係上、普段以上の緊張感で接し、より自分自身の研究も必要となり、教員としての資質向上につながっていくものと考えられます。

新規採用者は、採用年度に学校の教員としての適性を考える機会として、職務の遂行に必要な実践的指導力と使命感の修養ならびに幅広い知見の習得及び教育指導の充実を図るための課題の解決等を目的に外部研修に参加し、モチベーションを高めています。さらに、本校においても独自に指導教員が生徒との接し方や指導方法、事務的内容を伝授し、教員として一日も早い自立を目的として、年間１０回の研修を実施しており、終了後は受講についてのアンケートおよび校長や教頭を囲んでオフサイトミーティングを行い、翌年度の実施計画案に役立てています。

## 令和３年度 初任者研修 年間計画表

|    | 研修テーマ                   | 実施日時                 | 担当者      | 研修場所   | 備考               |
|----|-------------------------|----------------------|----------|--------|------------------|
| 1  | 初任研〇Ｒ                   | ４月 ７日（水） １１：００～１１：５０ | 高梨       | 4号館会議室 | 教頭               |
| 2  | 高田の歴史と建学の精神について         | ４月１２日（月） １４：４０～１５：３０ | 学校長      |        | 学校長              |
| 3  | 学校法人の規定について             | ４月１３日（火） １４：４０～１５：３０ | 加藤       |        | 事務局長             |
| 4  | コンプライアンス<br>（服務規程と教育法規） | ４月１９日（月） １５：４０～１６：３０ | 宇河       |        | 副校長              |
| 5  | 教職の実務 中・高の教務            | ４月２６日（月） １５：４０～１６：３０ | 谷口       |        | 教務部長             |
| 6  | 生徒指導                    | ４月３０日（金） １５：４０～１６：３０ | 福山       |        | 生徒指導部長           |
| 7  | 進路指導                    | ５月１０日（月） １５：４０～１６：３０ | 古川       |        | 進路指導部長           |
| 8  | 特別支援教育・カウンセリング          | ５月２１日（金） １５：４０～１６：３０ | 的場<br>松尾 |        | 養護教育<br>学校カウンセラー |
| 9  | 学校の危機管理                 | ５月２４日（月） １５：４０～１６：３０ | 眞岡       |        | 教頭               |
| 10 | 人権教育推進                  | ６月 ７日（月） １５：４０～１６：３０ | 鈴木       |        | 人権教育委員           |

このほか、中堅以上の教員についても、これからの学校をリードするための知識や能力を養うため例年外部研修会にも参加していますが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、参加の取りやめ、または研修会が中止となっています。

今後でもできる限り外部の講習会や研修会、出前授業に積極的に参加し、学校内では得ることのできない情報を吸収することで、新人からベテランまで教員としての資質向上に役立てていきたいと考えています。

### 【生徒募集活動】

#### 高田中・高等学校公開イベント

##### 小学生を対象とした「学びのひろば in 高田」

地域交流事業の一つとして、小学生（４・５年生）を対象とした公開講座「学びのひろば in 高田」を年２回開催しています。本年度は、様々な分野に興味関心を持つ児童たちを募集したいと考え、従来の「算数オリンピック」に加え、他教科もオリンピックを実施するなど、昨年度までのプログラムをリニューアルしました。また、各講座で、探究する楽しさを児童たちと共有しながら、本校の魅力や情報の発信にも努めています。第１回の開催は、新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み、８月２８日（土）から、１０月３１日（日）に延期になりましたが、１１７名の児童と保護者の参加があり、俳句作りや各講座のプログラムを楽しんでいただくことができました。第２回は、三重県下への新型コロナウイルスまん延防止等重点措置の適用により、残念ながら開催は中止となりました。

| 学びのひろば in 高田 |                                                                           |                                                                                 |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 日 時          | １０月３１日（日）<br>＜８月２８日（土）より延期＞                                               | ２月１１日（金・祝）<br>＜中止＞                                                              |
| テーマ          | ① たかだ夏季国語オリンピック「感性を競え！俳句名人」<br><br>② 算数「たのしい算数教室」<br><br>③ 社会「おもしろ社会科クイズ」 | ① たかだ冬季理科オリンピック<br>「知力を競え！科学アスリート」<br><br>② 英語「英語であそぼう」<br><br>③ 仏教「歩いてみよう高田本山」 |
| 定 員          | １２０名                                                                      | １２０名                                                                            |



## 中学校入試説明会

本年度は、11月3日（水・祝）に受験生と保護者を対象とした中学入試説明会を開催しました。当初は9月23日（金）の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み、延期いたしました。昨年同様、参加時間帯を地区で指定させていただき、午前の部と午後の部の2回に分けて実施しました。午前の部は183家族が参加、午後の部は209家族が参加されました。



その他の生徒募集活動としては、広くマスコミを利用した広報活動や、塾を対象とした説明会を積極的に実施し、各地域で開催される私立中学展にも参加しピーアールに努めています。

## 高等学校公開イベント・学校見学会・個別見学会

高等学校に関しては、教員が各中学校を訪問し受験生と保護者に対し、入試や本校の教育内容について詳細に説明しています。

8月21日（土）に予定していた学校見学会は、中学生約800名と保護者約500名の参加申し込みがありましたが、県内の新型コロナウイルス感染拡大を受け中止といたしました。

そこで、10月16日（土）、17日（日）に学校見学会ミニを1日2回臨時開催することとなりました。約300名の中学生にご参加いただき、詳しい学校説明や校内見学ツアーなどを行うことができました。

10月30日（土）・11月6日（土）・11月20日（土）の個別見学会は、例年通り開催することができ、約500名の中学生・保護者に、学校説明、校内見学ツアー、部活動見学や個別相談にも参加いただきました。部活動見学では、活動する生徒達も見ていただき、本校のリアルな日常の雰囲気も味わっていただきました。どちらもコロナ禍で人数等の制限がある中、一つ一つのイベント規模は小さいですが、本校の良さを知っていただける温かみのあるイベントになりました。

なお、学費など経済的不安を抱えられている家庭については、国や県の就学支援制度などを活用することで、安心して教育が受けられる体制を整えていることをピーアールしています。





## Web 出願

今年度より高校入試におきまして、Web 出願システムを導入しました。これによりパソコンだけでなくスマートフォンやタブレットから期間内であれば24時間いつでも手続きできるようになりました。出願登録、入学検定料の決済、合否照会等のこれまで紙面で行っていた書類の取り寄せや郵送などがなくなったことで、手続きが軽減されました。またクレジット決済を利用することで銀行窓口にいかなくとも入学検定料の決済が可能となり志願者にとって利便性が向上しました。本校も出願登録された情報をデータで処理できるようになったことで、入試処理作業の負担が大幅に軽減されました。各中学校側としてもWeb上で志願者の出願状況や検定料の入金確認および合否結果の把握ができ、また調査書の提出もWebを利用することで入試手続きの負担が軽減されたと思われます。その他にも志願者や中学校に対してメールで即日連絡することが可能となり、変動する感染症の状況等にも対応することができました。



## 施設整備の整備事業実績

### 1号館渡り屋根他修繕工事

施行業者 : (株) 辻工務店  
 施行費用 : 784,300円  
 施工時期 : 8月26日(木)～28日(土)

### 東グラウンド防球ネット他修繕および新設工事

施行業者 : サクラネット(有)  
 施行費用 : 1,347,550円  
 施工時期 : 8月28日(土)～9月7日(火)

### 冷水機入替工事(4台)

施行業者 : 辻井電気設備  
 施行費用 : 840,400円  
 施工時期 : 8月18日(水)～20日(金)

### UV-C殺菌用空気殺菌器(4台)

納入業者 : 光スチール家具(株)  
 納入費用 : 382,360円  
 納入日 : 9月27日(月)



### オゾン除菌脱臭装置(15台)

納入業者 : (株)クラウドエム  
 納入費用 : 2,301,750円  
 納入日 : 令和4年3月8日(火)

